

# MOTOR SPORTS REPORT

WRC/世界ラリー選手権 第2戦 Rally Sweden

トヨタ GAZOO Racing WRT が2戦目 雪のスウェーデンで総合優勝！！  
「もっといいクルマづくり」がまた一歩前進。

PIAA のライティングシステムもナイトステージで威力を発揮。



WRC 復帰2戦目で総合優勝！

## ■第2戦 ラリー・スウェーデン概要 2017年2月9日～12日開催

2017年 WRC 第2戦は北欧のスウェーデンで開催。ほぼ全コースが雪で覆われているスノーラリーだ。全車スノー競技用のスパイクタイヤを装備し、雪や氷のスリッピーな路面で戦う。

TOYOTA GAZOO Racing WRT はドライバー、コ・ドライバーともに北欧フィンランド出身で、多くのチームスタッフも北欧出身者が多いことから、開幕戦でポディウムフィニッシュを飾ったチームだけに、大きな期待が寄せられた。







DAY-1 スタート前のYARIS WRC ナイトステージに備えPIAAライティングシステムを装着



ラリー・スウェーデンはスノーのほか凍った路面のアイスも点在しており、多くのセクションが雪と氷に覆われる難関なイベントとして知られる。加えてナイトステージとして設定されているDAY-1はPIAAのライティングシステムが威力を発揮するイベントである。オープニングステージのSS1ではいきなりラトバラが復帰後初となるSSベストを記録し、ハンニネンが8番手タイムをマークするなど抜群のスピードを披露、スウェーデンでの連続表彰台を期待させる走りでDAY-1を終了。

DAY-2は初日トップのラトバラは、トップタイムを刻むなど一時トップに立ったが、最終的にDAY-2は2位でフィニッシュした。#11ハンニネンは9番手を順調に走行していたが、SS5でコースサイドの立ち木にフロントをヒットさせてしまい、残念ながらデリタイヤとなったが、サービスパークに戻りメカニックの懸命な修復によりDAY-3で復帰した。





DAY-3 は最終ステージのスーパーSS まで 2 位につけていたラトバラは、トップ走行中のマシンがクラッシュしたことによりトップに浮上。DAY-4 をトップの位置でスタートすることとなったが、後続のマシンに勢いがあり、2 位との差がわずか 3.8 秒という戦いの中で、最後までトップを堅守出来るか注目が集まった。前日デリタイヤしたハンニネンは順調な走りでも DAY-3 を走破した。



DAY-4 は 2 位と 3.8 秒差でスタートしたラトバラは、計 3 本の SS をすべてベストタイムを奪取し、最終的には 2 位と 30 秒近い差をつけて、今季初優勝をトヨタにもたらした。ドライバーズランキングもトップに立った。ハンニネンも DAY-2 のデリタイヤから挽回し、総合 23 位でフィニッシュした。開幕戦で 2 位、2 戦目で総合優勝と幸先の良いスタートを切った TOYOTA GAZOO Racing WRT だが、勝敗以上に 常に「もっといいクルマづくり」を意識した戦いが続く！



(画像提供：トヨタ自動車)

<http://toyotagazooracing.com/jp/wrc/release/2017/rd02-day4.html>

<http://toyotagazooracing.com/release/2017/wrc/rd02-day4.html>